

“絆”きずな

第7回訪問リハ・地域リーダー会議 参加記

平成28年5月20、21日の2日間に渡り開催された、第7回訪問リハ・地域リーダー会議に初めて参加しました。全国から168名もの参加者が集まり、活動報告や講演を熱心に聴講していました。また、グループディスカッションではPT、OT、STという職種や地域の垣根を越えて積極的に意見交換する様子が印象的でした。今回のテーマである「訪問リハビリテーション実務者研修会の開催を通して、県行政や医師会等の他団体とどう連携するか」について、それぞれの地域での取り組みを報告し合い、意見交換をする様子には、これから地域のネットワークを構築するとともに、さらに訪問リハビリテーションを盛り上げていこうとする意志を感じました。会議の名称である「地域リーダー」の名に相応しい活躍を期待する、活気溢れる会議でした。

一般社団法人 日本言語聴覚士協会 理事 黒羽 真美
学校法人 国際医療福祉大学 介護老人保健施設 マロニエ苑

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介① 福井県編

福井県では2013年春に福井県訪問リハビリテーション振興委員会を組織し、在宅生活支援のリハビリテーションの質の向上に取り組んでいます。本委員会は松井一人先生が発起人となって2009年に設立された「福井県訪問リハビリテーション研究会」の活動を引き継ぎ、PT・OT・ST各士会公認の事業として協同で運営しています。毎年、実務者研修会、外部講師を招いての勉強会、事例検討会を重ねています。本年3月にはその事例検討会で討議された内容を事例集として発刊しました。また、委員長を三士会の会長が1年交代で務めるなど、協調して活動していることも特徴です。今後は行政の皆様との距離感を縮めることに努力してまいります。

福井県訪問リハ・地域リーダー 言語聴覚士 中内一暢
介護老人保健施設 湯の里ナーシングホーム

南から始まる訪問リハビリテーションの魅力 in長崎県

「娘に『寒(かん)ざらし』ば食べさせたか」ある利用者のつぶやき。熊本に嫁に行き2歳と0歳の子を抱え避難している娘のことである。『寒ざらし』は水の都島原地方の夏の風物詩。白玉餅を湧水に晒して冷やし各家庭独特の蜜を作りかけたもの、作った日にしか食べられずこの土地でしかこの味が出せない故郷の味である。50歳でクモ膜下出血により記憶障害になった父と脳梗塞片麻痺になった母を案じ「元気やけん熊本に來んでいいよ」と娘に言われ複雑な両親。でも「盆には帰るけん『寒ざらし』ば食べたか」の一言に「『寒ざらし』作れるかな」と親の顔になった二人。お盆には娘と初対面の孫を囲んで食べられるようOTとの特訓が始まった初夏の一場面です。

長崎県訪問リハ・地域リーダー 作業療法士 城戸よしみ
訪問看護ステーション東長崎和仁会

< 職員募集 >

就職説明会開催!

～ 一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団 宮古・山田訪問リハビリステーションゆずる ～

平成28年10月1日(土) 15:00～17:00

アイーナ 7階702 (いわて県民情報交流センター)

利用者さんやご家族、地域の方々、そして自分たちみんなが幸せになれる職場づくりを目指しています。
気仙沼訪問リハビリステーション、浜通り訪問リハビリステーションでも同時募集しております。

就職を希望される方、この機会にぜひご連絡ください。

〒108-0023 東京都港区芝浦3-5-39 田町イーストウイング6F
TEL:03-6453-7370 FAX:03-5765-5177